

基本理念

地域でともに支え合いいきいき暮らせるまちづくり

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
幸福度が8点以上の 人の割合	%	44.3	令和4年度に実施 予定の「介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査」で 確認	45.1	令和7年度に実施 予定の「介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査」で 確認	50.0
主観的に健康状態が よいと感じている 人の割合	%	75.4	令和4年度に実施 予定の「介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査」で確 認	77.6	令和7年度に実施 予定の「介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査」で確 認	80.0

基本方針

1. 健康づくりと介護予防の推進(健康寿命の延伸)

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
要介護認定率 (施策反映後)	%	20.1	19.9	19.6	19.8	20.3
健康寿命を延伸する (65歳平均自立期間)	年	女性 21.05 男性 18.00	女性 21.68 男性 18.32	女性 21.74 男性 18.54	女性 21.95 男性 18.52	女性 21.66 男性 19.06

施策の柱

1. 健康づくり施策の充実・推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
新規要介護 (支援)認定者の 平均年齢	歳	81.8	81.9	82.0	82.3	82.0

基本施策項目

1-1. 生活習慣病予防の取り組み強化

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和5年度 実績値	令和 5 年度 目標値
家庭で毎日血圧 測定をしている人 の割合	%	19.9	令和 4 年度に実 施予定の「介護予 防・日常生活圏域 ニーズ調査」で 確認	23.7	令和5年度に実 施予定の「介護予 防・日常生活圏域 ニーズ調査」で 確認	60.0
週 1 回以上運動 やスポーツをして いる人の割合	%	38.2	41.6	41.7	41.3	65.0
松江市国保特定 健診の受診率	%	49.2	44.9	45.8	42.9	60.0
新規要介護 (支援)認定者の 平均年齢	歳	81.8	81.9	82.0	82.3	82.0
新規で要介護 2 以上に認定される 割合	%	27.5	26.3	27.7	27.5	25.0

【第 8 期の取り組み内容・評価】

令和 3 年度から、コロナ禍だからこそ重要となる生活習慣を見直すため、「るるくる」によるセルフチェックの大切さを重点的に周知してきたが、新型コロナウイルス感染症の 5 類引き下げ後においても、適切な生活習慣を保つことが重要であることから、引き続き周知・啓発を行った。

また、日常生活の中で気軽に継続して取り組める健康づくりのきっかけとして、市民の皆様に親しまれている「松江市の歌」に合わせた「まつえっこ体操」を考案した。この体操を、SNS 等により PR を行ったほか、DVD や CD を保育所(園)や幼稚(保)園、公民館などに配布し、園や地域での健康づくりに活用いただいている。

健診については、令和 3 年度から引き続き、実施期間を 12 月まで延長して受診機会を確保したところ(※延長前の終期は 10 月末)、受診率は徐々に回復しつつあるものの、コロナ前の水準には届いていない。

毎日の血圧測定や週 1 回以上の運動、特定健診受診率については、いずれの指標も目標に届いていない。これまでの「市報松江」や市ホームページ、「けんしんのお知らせ」などを通じた周知・啓発に加えて、市民の行動変容を促すような、効果的な周知・啓発方法について検討し、実践する必要がある。

基本施策項目

1-2. 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
通いの場に専門職 を派遣	回	388	255	287	400	470

【第8期の取り組み内容・評価】

新型コロナウイルス感染症に留意しながら、地域の通いの場であるなごやか寄り合いや自主グループ活動等に保健師やリハビリテーション専門職の派遣を継続し、運動・栄養に関する講話や指導を実施した。また、松江市チェックリストを活用し、引き続き参加者の健康状態の把握と、状況に応じて健康相談を行った。

今後も、通いの場への専門職派遣を継続し、地域の課題に対応した健康教育や健康相談を実施する。

施策の柱

2. 介護予防・重度化防止の効果的な取り組み

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
新規要支援認定者の 重度化率	%	18.3	19.5	17.7	23.1	10.0

基本施策項目

2-1. 総合事業見直しによる自立支援推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
緩和型サービス 事業所数	件	訪問 4 通所 4	訪問63 通所85	訪問 68 通所 85	訪問 73 通所 86	訪問 70 通所 85
緩和型サービス 利用者数	人	訪問 200 通所 0	訪問 7,507 通所 12,841	訪問 7,720 通所12,694	訪問 7,342 通所 11,970	訪問 9,800 通所 16,500
自立支援強化・評 価加算算定率	%	—	—	訪問 87.0 通所 81.6	訪問 86.0 通所 82.1	90.0
新規要支援認定 者の重度化率	%	18.3	19.5	17.7	23.1	10.0

【第8期の取り組み内容・評価】

令和4年度より自立支援強化・評価加算を開始しており、8割を超える事業所が算定対象事業所となっている。令和4年度に引き続き新規立ち上げを検討している事業所からの相談を受け、令和5年度は訪問2事業所、通所2事業所の新規指定を行った。

今後も事業所等からの、制度に関する相談等にきめ細かに対応し、事業の円滑な運用に努める。

基本施策項目

2-2. 通いの場支援の推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
からだ元気塾の 参加者数	人	845	785	840	946	1,100
なごやか寄り合い 参加者数	人	9,066	4,666	5,078	6,814	10,000
歯つらつ健口教 室の参加者数	人	109	48	55	47	200
通所 B の実施箇所	か所	21	24	27	23	40
通所 B 参加者の何 もつかまらずに椅子 からの立ち上がりが できる人の割合	%	—	81	82	84	90
シニアイベント 応援交付金 利用団体数	団体	—	11	11	16	75
通いの場に専門職を 派遣（再掲）	回	388	255	287	400	470

【第8期の取り組み内容・評価】

身近な通いの場に参加し、生きがいや閉じこもり予防につながるよう、通いの場への専門職派遣を行った。

からだ元気塾は、新規会場の立ち上げ支援や事業の普及啓発を行い、参加者は増加している。

なごやか寄り合いは、新型コロナウイルス感染症により休止中の会場の再開、新規立ち上げ支援を進め約9割の会場で再開につながった。

歯つらつ健口教室は、参加経験者へ再度参加の勧奨を行う等、参加者の増加に向けた取り組みや松江市歯科医師会との協力により、協力歯科医院からの啓発を進めている。

今後も各事業の取り組みを継続して行い、参加者の増加につなげていく。

通所型サービス B について、生活支援コーディネーターや地域包括支援センターを中心に立ち上げ支援を行い、2 団体が新規登録に至った。今後も継続して支援を行い、団体数、参加人数の増加につなげる。

シニアイベント応援交付金について、事業の普及啓発を行い、利用団体数は増加したが、登録団体数は伸び悩んでいる。事業開始後5年目となることから、事業成果を評価し、見直しを図る必要がある。

施策の柱

3. 生きがいづくり・社会参加の促進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
生きがいがある人の割合	%	62.1	令和4年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	61.0	令和7年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	80.0

基本施策項目

3-1. 高齢者が活躍できる場の推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
シルバー人材センター会員数	人	801	896	894	963	810
シルバー人材センター受託事業受託件数	件	12,642	11,938	11,848	11,016	15,512
高齢者クラブの会員数	人	11,290	10,916	10,495	10,091	12,000
まめなかポイント事業登録活動者数	人	93	97	96	108	260
高齢者バス割引乗車事業延べ利用者数	人	475,453	331,307	314,907	323,531	500,000

【第 8 期の取り組み内容・評価】

シルバー人材センター会員数について、定年延長やコロナ禍により新入会員数が伸び悩んでいる時期もあったが、デジタル化による入会説明会の見直し、会員による新規会員紹介運動、PR 活動の強化等により、会員数が増加している。

シルバー人材センター受託事業受託件数について、令和 4 年度より、就業先や新規事業等の開拓、人材マッチング等を行うコーディネーターを配置し、就業機会の拡充を図っており、女性会員に向けた就業意向調査や、松江商工会議所との意見交換を行い、新たな就業先の開拓に向けて取り組んでいる。また、就業依頼が多い職種と会員が希望する職種にミスマッチがあり、特に技術職の会員不足により、対応可能な会員がおらず受託できないケースもあり、会員が希望する職種の就業開拓と後継者育成が今後の課題となっている。

高齢者クラブの活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が中止・縮小となる中で、グラウンドゴルフ大会やニュースポーツ大会、各地区のクラブでの活動等を感染状況に配慮しながら実施した。令和 5 年度は 4 年ぶりに松江市高齢者スポーツ大会を開催し会員同士の交流を深めることができた。コロナ禍においても、会員加入促進に向けた活動は継続していたが、会員数は減少している。今後は、感染状況に配慮しながら、さらなる事業の再開等を図り、会員の加入促進を図っていく。

まめなかポイント事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により受入施設でのボランティア活動が制限され、個人登録者の活動が非常に困難な状況が続いた。今後は広報誌や社協だより、HP 等を活用し、制度の周知を図り、登録活動者数の増加を目指す。また活動の場となる受入施設の拡充を図っていく。

高齢者バス割引乗車事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少した。令和 4 年 3 月より、これまでの高齢者福祉手帳・高齢者証を利用したバスカードによる割引制度から高齢者優待 ICOCA を利用した割引制度に移行している。今後は、対象者や関係機関に広く周知することにより、利用の促進を図っていく。

基本施策項目

3-2. 高齢者のボランティアや趣味活動の促進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
なごやか寄り合い 実施会場数	か所	372	254	302	335	400
なごやか寄り合い ボランティア数	人	2,262	1,177	1,541	1,849	2,500
生きがいがある 人の割合 (再掲)	%	62.1	令和4年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	61.0	令和7年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	80.0
シニアイベント応援交付金利用団体数(再掲)	団体	—	11	11	16	75

【第8期の取り組み内容・評価】

なごやか寄り合いのボランティアに対して、世話人研修会やなごやか見本市を開催し、なごやか寄り合い世話人同士の情報交換や、活動継続への支援を行った。生活支援コーディネーターを中心に、新型コロナウイルス感染症により、なごやか寄り合い休止中だった会場の再開支援や、新規立ち上げ支援を進め、約9割の会場での再開につながった。

引き続き、高齢者が生きがいづくりと社会参加に向け、就業やボランティア活動、趣味など様々な分野において活躍できるよう、なごやか寄り合い等の立ち上げ支援やボランティアの活動支援を行う。

施策の柱

4. 地域における支え合う体制強化

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
何かあったときに 相談する相手が居る人の割合	%	59.2	令和4年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	66.2	令和7年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	73.0

基本施策項目

4-1. 要配慮者支援の推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
要配慮者支援組織の世帯カバー率	%	37.9	42.0	43.3	44.7	70.0

【第8期の取り組み内容・評価】

これまでの自治会や自主防災組織の単位を基本とした組織化に加えて、より大きなエリアを対象とする公民館や自治会連合会等を母体とした組織の設立を進めた。引き続き、出前講座や説明会などを通じ、他地区での取り組みや本市補助制度の紹介を行い、地域の実情に応じた働きかけをすることにより、世帯カバー率を高めていく。

基本施策項目

4-2. 地域課題の解決支援

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
何かあったときに相談する相手が居る人の割合(再掲)	%	59.2	令和4年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	66.2	令和7年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	73.0
第1層生活支援コーディネーターの地域ケア会議への参加数	回	0	2	1	3	6
第2層生活支援コーディネーターが活動支援を行った協議体数	団体	29	29	29	29	29

【第8期の取り組み内容・評価】

第1層生活支援コーディネーターが地域ケア会議の評価会議に参加し、各圏域から挙げられた課題の把握に努めた。令和5年度は、各圏域で開催される地域ケア会議にも参加し、各圏域の課題をもとに、市全域の課題抽出と施策提言に努めた。

第2層生活支援コーディネーターは、市内全29地区で設置されている協議体への活動支援を行った。引き続き、地域課題の抽出と解決に向けた支援を継続する。

基本方針

2. 多様なニーズに対応した介護サービスの提供

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
住みやすさの 実感割合	%	82.2	82.8	81.5	77.9	95.0

施策の柱

5. 医療・介護の連携強化

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
介護サービスを在 宅で受けながら生 活できると考えて いる人の割合	%	75.7	令和4年度に実 施予定の「在宅介 護実態調査」 で確認	73.2	令和7年度に実 施予定の「在宅 介護実態調査」 で確認	80.0

基本施策項目

5-1. 在宅医療・介護連携の推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
市民講座開催	か所	14	16	17	17	29
ACP について話 し合った人の割合	%	33.1	令和4年度に実 施予定の「介護予 防・日常生活圏域 ニーズ調査」 で確認	28.1	令和7年度に実 施予定の「介護予 防・日常生活圏域 ニーズ調査」 で確認	40
介護サービスを在宅 で受けながら生活で できると考えている人 の割合(再掲)	%	75.7	令和4年度に実 施予定の「在宅介 護実態調査」 で確認	73.2	令和7年度に実 施予定の「在宅介 護実態調査」 で確認	80.0

【第 8 期の取り組み内容・評価】

引き続き松江市医師会の医療連携推進コーディネーターと連携し、医療・介護関係者間の情報共有、相談支援、研修を通して課題抽出を行い、各関係機関と対応策の検討を進めた。

市民講座について、住民と医療・介護関係者が地域における在宅医療・介護連携のあり方を共有し、理解を深める取り組みを進めた。

ACPについて、松江市終活支援ノートに、新たに ACP に関する情報を追加し、公民館等へ配布した。また、まっえアドバンス・ケア・プランニング普及・啓発推進協議会とともに、市民を対象にした市民公開講座や医療・介護関係者等を対象にした研修会を開催した。今後もACPに関する取り組みが進むよう、講演会や終活支援ノートを活用した出前講座等の開催を支援していく必要がある。

基本施策項目

5-2. リハビリテーションサービス提供体制の構築

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和5年度 実績値	令和 5 年度 目標値
リハビリテーション職とケアマネジャーの意見交換会の開催回数	回/年	0	0	1	1	1
通所リハビリテーション利用率	%	7.37	7.55	7.29	7.53	8.96

【第 8 期の取り組み内容・評価】

リハビリテーションの事業周知や、ケアマネジャーが利用者にとって効果的な生活期のリハビリテーションをケアプランに取り入れることができるよう、しまねリハビリテーションネットワーク及び松江地域介護支援専門員協会の共催研修会への支援を行った。

今後も、医師会、介護支援専門員協会、しまねリハビリテーションネットワークなど関係機関との連携強化に向けた取り組みを推進する。

基本施策項目

5-3. 多職種連携による生活支援

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
多職種連携会議開催	か所	7	7	7	7	8
事例検討会の開催	件	128	70	72	71	200

【第8期の取り組み内容・評価】

日常生活圏域ごとに開催されている多職種連携では、地域住民と地域の医療・介護関係者が連携して、地域特性や社会資源等に加え、感染症の影響や災害への備え等の新たな課題等も踏まえた地域課題の共有や、解決に向けた具体的な取り組みの支援をした。今後も会議で挙げられた地域課題に応じた支援を進める。

事例検討会について、令和5年度は、参加者が集合し、対面形式で検討会を開催した。

施策の柱

6. 適正化の推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
ケアマネジャー研修会の参加延べ人数	人	95	174	149	192	200

基本施策項目

6-1. 給付適正化(ケアマネジメント機能強化)の推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和5年度 実績値	令和 5 年度 目標値
ケアプラン点検年間実施数	件	8	119	120	61	15
ケアマネジャー研修会の参加延べ人数 (再掲)	人	95	174	149	192	200

【第 8 期の取り組み内容・評価】

令和3年度及び令和4年度のケアプラン点検は、全体的な傾向や課題を見える化するために全居宅介護支援事業所を対象に継続した点検を行ったことで、変化や傾向も含め気づきの場を提供できた。

令和5年度は同法人内にサービス付き高齢者向け住宅または有料老人ホームがある居宅介護支援事業所を対象に、要介護度が維持改善したプランを重点的に点検し、プランの傾向などの検証を行った。

点検結果はケアマネジャー研修会においてフィードバックするとともに講演会も開催し、サービスを適正に提供するために必要な知識、技能の修得及び向上を図った。

引き続き給付適正化に資すると取り組みとして、松江地域介護支援専門員協会と連携し、ケアプラン点検及びケアマネジャー研修を企画・実施する。

基本施策項目

6-2. 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅のサービスの質の向上

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和5年度 実績値	令和 5 年度 目標値
有料老人ホーム (サ高住含む)の 実地指導件数	延べ件数	34	55	65	67	80

【第 8 期の取り組み内容・評価】

運営指導では、サービス利用者の人権を尊重する取り組みの推進状況及び事故の予防と発生時の適切な対応等を重点的に確認した。また、令和 3 年度の指導指針の改正により新たに努力義務とされた項目についても確認した。更に、募集時や契約締結前での必要な措置についても注目し、確認した。令和5年度は、例年の重点項目に加え、令和6年度より義務となる項目の周知を行った。

指導件数について、新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮しつつ、予定件数を実施できるよう努める。

基本施策項目

6-3. 要介護認定適正化の推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
介護認定重度変更率の最大値	%	23.57	21.85	19.05	17.04	15.0
新規申請の認定までの平均期間	日	43.8	45.6	39.1	39.9	35

【第8期の取り組み内容・評価】

要介護認定における松江市の審査傾向について、介護認定審査会役員会や審査委員研修会の機会を通じて共有することができた。認定審査会委員研修では委員にアンケートや模擬審査を実施し、審査傾向をより細やかに分析し、審査の平準化を違う角度から考えていただく良い機会となった。過度の重度化変更などが発生しないためにも、引き続き、国のマニュアルに基づきながら審査会委員研修等による認定適正化に努める。

新規申請の認定までの平均期間について、申請数、主治医意見書の提出、及び審査会の日程調整等複数の要素で変動している。サービス未利用者の更新申請のあり方も検討し、申請者数抑制への取り組みも進めた。

今後も訪問調査の効率的な実施方法について検討を進めるとともに、引き続ききめ細やかな主治医意見書の提出依頼を継続し、認定までの期間短縮に努める。

施策の柱

7. 地域共生社会に向けた包括的支援

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
福祉総合相談窓口 設置数	か所	15	14	47	47	35

基本施策項目

7-1. 全世代・全対象型地域包括支援体制の構築

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
地域包括支援センター 配置人数	人	31	33	36	36	36
福祉総合相談窓口 設置数(再掲)	か所	15	14	47	47	35

【第8期の取り組み内容・評価】

地域包括支援センターの人員について、市が定める条例の定員基準の人数は満たしているが、保健師・主任介護支援専門員において配置基準を満たしていない状況が続いている。全世代を対象とする総合相談窓口として、障がいのある方、子ども、生活困窮者等、地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応するため、今後も不足している職種の確保に努める。

福祉総合相談窓口について、「ふくしなんでも相談所」において、分野にとらわれず地域住民の相談を受け付け、適切な機関へつなぐなど、相談支援を実施した。あわせてふくしなんでも相談所のチラシやカードを公民館や市内小中学校へ配布するなど、周知活動も行った。令和4年度には、松江市社会福祉法人連絡会に参加している9つの社会福祉法人が各事業所に計20か所の「ふくしなんでも相談窓口」を、市内薬局13か所に「ふくしなんでも相談所連携薬局」を設置し、「ふくしなんでも相談所サテライト」の拡充を図っている。地域に身近な相談窓口のさらなる拡充に向け、引き続き協力法人との調整を進める。

基本施策項目

7-2. 共生型サービスの普及・推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
共生型サービス指 定の手引の作成	冊	0	0	0	0	1

【第8期の取り組み内容・評価】

共生型サービスの新規取り組みの希望があった事業者の相談に対応し、令和5年度に1件が開設した。共生型サービスについては現時点で希望が少ないことを踏まえ、今後は、制度の普及啓発に努めつつ、希望事業所が増加するのに合わせて手引きの作成を検討する。

基本施策項目

7-3. 介護離職ゼロを目指す相談体制の充実強化

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
地域包括支援センター 配置人数(再掲)	人	31	33	36	36	36
家族介護者交流 事業参加人数	人	59	45	51	41	100
介護離職防止 連携会議の開催	回/年	—	0	0	0	2

【第8期の取り組み内容・評価】

家族介護者交流会について、第1回は映画上映会を開催し、28名(うち市民11名)が参加、第2回では認知症についての講演を行い、参加者は13名(うち市民9名)であった。男性介護者フリースペースでは、居宅介護支援事業所への周知ならびに松江市社会福祉協議会の広報誌(社協だより)を活用した事業の周知を図り、参加者の増加につながっている。

令和6年度も、介護者が日頃の介護から離れた環境で心身のリフレッシュを図ることができる内容の交流会を企画し、参加者の増加につなげる。

基本方針

3. 認知症施策の推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
認知症に関する相 談窓口を知ってい る人の割合	%	29.2	令和4年度に実 施予定の「介護予 防・日常生活圏域 ニーズ調査」で 確認	27.2	令和7年度に実施 予定の「介護予 防・日常生活圏域 ニーズ調査」で 確認	60.0
要配慮者支援組 織の世帯カバー率	%	37.9	42.0	43.3	44.7	70.0

施策の柱

8. 認知症の共生・予防

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和5年度 実績値	令和 5 年度 目標値
認知症に関する相談窓口を知っている人の割合 (再掲)	%	29.2	令和 4 年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	27.2	令和7年度に実施予定の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で確認	60.0

基本施策項目

8-1. 本人・家族への支援

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和5年度 実績値	令和 5 年度 目標値
認知症カフェ設置数	か所	8	9	8	9	10
認知症初期集中支援チーム対応件数	件	26	32	33	34	50

【第 8 期の取り組み内容・評価】

市主催の認知症カフェは、延べ111人(うち本人3人、家族31人)が参加した。令和6年度も本人や家族の支援のため、市主催の認知症カフェを継続して開催する。

認知症初期集中支援チームについて、早期介入により、適切な受診等への支援につなげている。

基本施策項目

8-2. 認知症バリアフリーの推進

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和5年度 実績値	令和 5 年度 目標値
見守りネットワークの協力事業者数	事業者	255	258	282	367	300
SOS ネットワーク登録者数	人	1,134	1,246	1,375	1,472	1,500
チームオレンジ設置数	か所	1	1	1	2	3

【第 8 期の取り組み内容・評価】

見守りネットワーク体制の強化のため、協力事業者の拡大に努めた。見守り協力事業者は367となり、日々の業務の中での見守り活動に取り組んでいただいている。

また、行方不明高齢者の対策として、QR コード付きの見守りシールの配布も進めており、多くの市民に事業周知を図るため、今後も、SNS 等様々な媒体を活用した周知活動を進める必要がある。

チームオレンジについて、新規立ち上げ活動を進め、令和 5 年度は東出雲地区に1か所開設することができた。今後も、認知症の方や家族の支援体制を拡充するため、チームオレンジの新規開設に向け、取り組みを進める。

基本施策項目

8-3. 普及啓発・予防

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和5年度 実績値	令和 5 年度 目標値
認知症サポーター 養成講座受講者数	人:累計	20,949	22,579	23,323	24,002	27,000
認知症キャラバン・メイト 実働者割合	%	61.0	74.3	75.0	75.8	80.0
からだ元気塾の 参加者数(再掲)	人	845	785	840	946	1,100
なごやか寄り合い 参加者数 (再掲)	人	9,066	4,666	5,078	6,814	10,000

【第 8 期の取り組み内容・評価】

認知症サポーター養成講座について、学校、企業、自治会等で認知症サポーター養成講座を開催し(令和6年3月末時点で計30回)、679人が参加した。引き続き、小・中学校、高校生等若年世代への養成講座の開催に向けて関係機関への働きかけを行う。

キャラバン・メイトについて、今後、実働者割合の向上に向けて非活動者に対して、学び直しのきっかけとして認知症サポーター養成講座受講の働きかけを行い、実働者割合の向上を図る。

基本施策項目

8-4. 権利擁護・虐待の予防と対策

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和5年度 実績値	令和 5 年度 目標値
成年後見制度 利用者数	人	500	547	554	562	600

【第 8 期の取り組み内容・評価】

令和 3 年 7 月に、成年後見制度をはじめとする権利擁護支援の中核的な役割を果たす機関として松江市権利擁護推進センターを設置し、成年後見制度の利用促進に取り組んでいる。令和 5 年度も前年度に引き続いて松江市権利擁護推進センターにおいて、成年後見制度の利用、相談支援を実施するとともに、地域への出前講座・研修の実施等による広報、啓発活動に取り組んだ。引き続き、出前講座や研修会、講演会の開催等を通して、広く市民の皆様へ権利擁護についてご理解いただく機会を設け、成年後見制度の利用促進を図っていく。

基本方針

4. 介護人材の確保

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和5年度 実績値	令和 5 年度 目標値
介護職員の充足率	%	15.0	11.3	10.3	13.3	25.0

施策の柱

9. 地域包括ケアを支える介護人材の育成・定着

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和5年度 実績値	令和 5 年度 目標値
介護職員の 充足率(再掲)	%	15.0	11.3	10.3	13.3	25.0

基本施策項目

9-1. 介護職員の処遇改善

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
介護職員処遇改善加算 届出事業所数	件	579/759 (76.3%)	727/747 (97.1%)	730/747 (97.7%)	715/731 (97.8%)	760/760 (100%)
介護職員特定処遇 改善加算届出事業 所数	件	268/759 (35.3%)	547/747 (73.2%)	556/747 (74.4%)	569/731 (77.8%)	532/760 (70%)
働きやすい職場づくりに資する 研修会への参加 事業所数	年間回数/1 事業所	—	0/1	0/1	0/1	1/1

【第8期の取り組み内容・評価】

介護職員処遇改善加算・介護職員特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ等支援加算について、未取得の事業所に対して個別に働きかけを行い、取得に向けた事業所からの相談に応じる等の支援を行った。個別の働きかけや相談を進めた結果、「これらの加算を取得することによって、法人内の別の医療事業の従事者と賃金に差が生じる」、「親族で行っている事業なので、加算にこだわらない」等の特殊な事情がある事業所を除いたほぼすべてにおいて介護職員処遇改善加算を取得した。

令和6年6月からはこの3つの加算を一本化した新たな処遇改善加算が開始された。制度の改正にかかわらず、引き続き未取得の各事業所に対して新規取得に向けて個別かつ具体的な事務手続き上の支援を行い、またすでに取得している事業所に対しても制度の有効な活用、また適切な運用に向けて指導を行っていく。

基本施策項目

9-2. 介護業界のイメージアップ

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和3年度 実績値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和5年度 目標値
介護の出前授業 実施中学校数	校	3	5	6	6	17
介護の情報誌発行数	冊	0	0	1	0	1
中国地方管内福祉 人材養成校への アプローチ数	校:累計	0	0	0	0	30

【第 8 期の取り組み内容・評価】

介護の出前授業について、令和5年度は計6校で実施した。委託先の松江市社会福祉協議会及び市内介護事業所職員によるオリジナル教材の活用や、松江農林高校の生徒の参加等、内容の充実を図っている。

令和5年度は中国地方管内福祉人材養成校へのアプローチを実施するに至らなかった。今後は、本市の介護職、介護職員及び介護事業所等の紹介や魅力発信を行うために制作された PR 冊子を市内中学校・義務教育学校だけではなく中国地方管内福祉人材養成校へも周知(配布)し、定期的に情報交換できる関係づくりを構築する。

基本施策項目

9-3. 元気高齢者の活躍

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和5年度 実績値	令和 5 年度 目標値
介護の入門的研修 の参加者数	人	3	15	11	8	30
ハローワーク等関 係機関との協議回 数	回:累計	0	0	0	0	2

【第 8 期の取り組み内容・評価】

介護の入門的研修について、8名が参加した。今後は広報や周知に力を入れ、参加者数の増加に向けて取り組んでいく。また、引き続き、介護の入門的研修等の機会を通して介護人材のすそ野を拡げるとともに、事業所の人材確保に係る実態を把握し、関係機関と協議しながら高齢者等の介護職場への就労促進を図る。

基本施策項目

9-4. ICT 等の活用

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和5年度 実績値	令和 5 年度 目標値
介護の ICT 化ハッ カソン開催回数	回:累計	0	0	0	0	2
先進的事例を紹 介・共有する場の 開催回数	回:累計	0	1	2	2	3
ICT 導入法人数	件:累計	4	10	16	9	24

000..【第 8 期の取り組み内容・評価】

ICT の活用を含む先進的な事例を紹介する事業者向けのセミナーを令和 6 年 2 月に開催し、20 事業所が参加した。今後は、令和 4 年度に実施した「介護人材の確保等に関する実態調査」の結果をもとに、事業所におけるニーズを把握したうえで、セミナーの内容等を検討し、業務効率化及び職員の負担軽減に向けた ICT 等の活用を促進していく。また、ICT 機器等の導入に向けて、中心的な役割を担う DX 人材の育成が促進されるよう、セミナーの開催等を通じ、事業所に対する支援を行っていく。

基本施策項目

9-5. 業務効率化の取り組み

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和5年度 実績値	令和 5 年度 目標値
事業所間交流する 場の検討回数	回:累計	0	0	0	1	3
法人間連携の調査 研究回数	回:累計	0	0	0	0	3

【第 8 期の取り組み内容・評価】

事業所間交流について、介護事業所と連携し、事業所の垣根を越えて経験年数の浅い職員が基本的な接遇等を学ぶ研修として、令和 5 年 11 月に開催した介護 PR イベントの中でワールドカフェの中で、試行的に実施した。(介護事業所職員 11 名参加)

人材活用策等に係る法人間連携について、令和4年度に実施した「介護人材の確保等に関する実態調査」の結果をもとに事業所のニーズや課題を把握したうえで、介護人材確保検討会議で意見を集約し、今後の取り組みにつなげる。

基本施策項目

9-6. 外国人材の活用

【第 8 期の取り組み内容・評価】

令和5年度は外国人活用セミナーの実績なし。代わりに高齢者や障がい者等の多様な人材活用セミナーを令和 6 年3月に開催し、3事業所が参加した。今後は、令和4年度に実施した「介護人材の確保等に関する実態調査」の結果をもとに事業所のニーズや課題を把握したうえで、同様の事業所向けのセミナーを開催する場合は、事業所が求めるテーマの選定や効果的な周知方法等を検討していく。

基本方針

災害・感染症対策

指標名	単位	令和元年度 実績値	令和 3 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和5年度 実績値	令和 5 年度 目標値
介護サービス事業 所における業務継 続計画(BCP)の策 定率	%	12.8	13.1	15.2	99.4	100

【第 8 期の取り組み内容・評価】

第 8 期計画期間中においては、市と松江地域介護支援専門員協会の共同開催による研修会の開催、集団指導において制度説明等を行い、また令和 5 年度には松江市独自の研修会を会場・オンラインのハイブリッド方式にて実施し事業者の理解醸成を図った。今後は策定した計画をもとに研修・訓練の実施や計画の見直し等について引き続き独自研修による指導を行い、また運営指導において個別事業所に対する指導を行っていく。